

5
May

- 1 [土] 豊橋演劇鑑賞会 第278回例会
トム・プロジェクト『Sing a Song』◎PLAT主ホール
- 1 [土] プラット2021年度プログラム説明会
◎PLATアートスペース
- 3 [月・祝] 竹内直 Old & New Dream Jazz Orchestra
前夜祭スペシャルライブ
◎PLAT主ホール
- 4 [火・祝]—5 [水・祝]
とよはしアートフェスティバル2021 大道芸inとよはし
◎PLATほか
- 14 [金]—21 [金] チェルフィッチュの〈映像演劇〉
『風景、世界、アクセント、
すべてこの部屋の外側の出来事』
◎PLATアートスペース
- 15 [土]—16 [日] 第145回
NAMUE パレエコンクール 愛知
◎PLAT主ホール
- 22 [土] 豊橋ロータリークラブ 70周年記念講演事業
有森裕子講演会&
有森裕子・尾川とも子・石黒由美子トークショー
◎PLAT主ホール
- 23 [日] カッセル オペラアカデミー 声楽発表会
◎PLATアートスペース
- 27 [木] 桂文我 独演会◎PLATアートスペース

6
June

- 4 [金]—6 [日] 『東京ゴッドファーザーズ』◎PLAT主ホール
- 10 [木] 大学・短期大学・専門学校 進学ガイダンス
◎PLATアートスペース
- 12 [土] 第6回コーロ・フェリーチェ演奏会◎PLAT主ホール
- 12 [土] 家族をうたう～ Families in Song～
◎PLATアートスペース
- 18 [金]—20 [日] 彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾
『終わりよければすべてよし』
◎PLAT主ホール
- 20 [日] ドレミ～なピアノ教室 第18回 発表会
◎PLATアートスペース
- 22 [火] 「Golpe」◎PLAT主ホール
- 27 [日] 第38・39回アコーディオンコンサート
◎PLATアートスペース
- 29 [火]—30 [水]
『未練の幽霊と怪物—「挫波」「敦賀」—』
◎PLAT主ホール



PLAT NEWS

公益財団法人
豊橋文化振興財団情報誌
2021年5月—6月
vol. 49



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT



CONTENTS

- 表紙
『終わりよければすべてよし』
吉田鋼太郎
- 2
INTERVIEW:1
とよはしアートフェスティバル 2021
『大道芸inとよはし』
大道芸人たちが舞台上で
画期的パフォーマンス。
橋本隆雄
- 6
INTERVIEW:2
『東京ゴッドファーザーズ』
PLATでしかできない演出をする。
藤田俊太郎
- 8
INTERVIEW:3
彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾
『終わりよければすべてよし』
体の続く限り、やはりシェイクスピア。
吉田鋼太郎
- 10
INTERVIEW:4
『未練の幽霊と怪物—「挫波」「敦賀」—』
身体、音楽、空間、言葉。
準備は万端です。
岡田利規
- 12
INFORMATION
PLAT主催公演情報
- 14
LOITER
バロコの寄り道ぶらぶら 桑原裕子
『適応力と、抗うちから』
- 15
SUPPORT
TICKET CENTER
- 裏表紙
とよはしアートフェスティバル
『大道芸inとよはし』
STILTANGO
PLAT CALENDAR

橋本——三河は私にとっては憧れの地です。伝統芸能の三河万歳のふるさとでもありますから。ただ、あの人たちは本当に貧しい階級で生まれて育って、死んでいく。その彼らが万歳をすることとは、人前で明るく喋るということだけではない魅力があるんです。夜に出かけて、街で三河万歳をさんざんやって、夜になるとつとり帰ってくる。そういう生活が実際にはあったということを知らなければいけないと思うんです。それが芸人の原点でもあります。

中島——今年、楽しみにしてほしいことはありますか。
橋本——今年、舞台でもできるだけ華やかなものや、あんまり見られないようなものをお届けできるよう考えて、みなさんを驚かせます。大スターも出すし、例えば雅楽みたいに人前に出たことのないものを、大道芸としてやる。快拳ですよ。こういう環境だからこざれる、画期的な出来事になります。

中島——5月の大道芸、楽しみにしております。

そこに届かない。だから、若いミュージシャンはそこに気をつけろという話をいつもしています。そうすると、やはり音楽自体が変わってくるんです。

中島——今後に向けて、豊橋ではどのようにやっていきたいと思いませんか。

橋本——最終的には、豊橋公園から駅まで会場が続けばいいなと思っています。スタッフの人数も3倍ぐらいに増やして、あの公園のにぎわいと、駅前のにぎわい、広小路通りのにぎわい、そしてPLATとが一体化するような繋がりを作りたいと思います。それで初めて豊橋すべてが大道芸の街になれる。

中島——最後に、豊橋の街について語っていただけませんか。



聞き手 中島晴美 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT シニアプロデューサー
大道芸人たちが舞台上で画期的パフォーマンス。橋本隆雄 プロデューサー

じっくりと、音楽の本質と将来に対しての話し合いをしました。

中島——ホール内での大道芸になったことで、アーティストの皆さんから、「やりにくい」といった声もお聞きになりましたか。

橋本——もちろん、やりにくいです。大道芸はお客との距離が大事で、できれば近寄りたし触りたい。唾がどどん飛び交うような近さで初めて、彼らはいろんなことが表現できるんです。だけど、舞台上ではそれはできない。結局、自分が決めた1つの流れを、そのまんまやることになって、大道芸の本当の面白さは伝わらない。でも、今はどの地域でも大道芸はとにかく実施できない。だから、ネットで流したり、いろんな手口でやっていますが、やはり知らない人は見ないからね。

中島——最近の大道芸で、増えてきたジャンルとかはありますか。

橋本——それを私は期待しているのですが、今は、創造性がなくなったというか。いい雰囲気、人の心に寄り添うような大道芸人が出てこなくなりました。大道芸は自分の満足ではない。これが、大道芸の本来のありようだから人のためにやればいい。ところがそれが出来なくなっている。加納真実にしても、芸人まことにしても、それからココナッツ山本にしても、みんなお客さん1人のために喋るんです。みんなを見ながら、そこにいる人たちのために喋り、そしてその人たちの反応を引き受けてまた次の人に喋るという「間」が必要です。今、話というものが雑にされすぎだと思っんです。ちゃんと相手の話も聞き、相手の空気を感じて、そこに向かって話すことが大切。音楽もそうです。自分はこの人のために全力で演奏をしているという自覚が大事で、それを忘れたらただの雑音です。いくらテクニックがうまくても、音楽が

中島——新型コロナウイルスの影響で、去年は屋外ではなく主ホールでの大道芸でしたが、いかがでしたか。

橋本——私は、どんな条件下でも大道芸を見せたいと思っています。表現芸術はいろんな形に転化して今の形になっていますが、根本は大道芸なんです。現在大道芸としてやっているものも、何年か先には大道芸がアートに成長していく可能性があると思っています。屋外での大道芸は、芸人とお客さん1人との、1対1の関係がたくさん、300、500人あります。それが舞台上上がると、1人对観客になる。目が合う人がいっぱいいるわけなんです。なので本当は、屋外での大道芸フェスティバルに私はこだわるのですが、去年の舞台も本当にお客さんにウケました。普段PLATに演劇公演を見に来るようなお客さんに対して、満足していただけるような芸人が何人もそろってきています。

中島——3日の前夜祭には、『まつもと街なかジャズフェスティバル』で大人気だった方々が来てくださるそうですね。

橋本——9人編成のビッグバンドですね。ジャズの話をするすと、毎年音楽大学から何百人というジャズ科の卒業生が出てくる。ところがその中には、本来のジャズは皮膚で覚えて、体で表現していくものなのに、観念的に脳と耳だけでジャズを演奏している人がいっぱいいます。それをなんとか作り変えて、あれあれの後の世代にも芯のあるミュージシャンが何人か出てもらわないとジャズは滅亡する、と竹内直と相談していたんです。それで結成したのが、「Old&New Dream Jazz Orchestra」。結成5年目ぐらいでやっと「これは聞き応えがある」というものができたので、松本の主役にしました。そこからまた半年以上経って、最近彼らのライブに行ったら、本当に涙が出るぐらいパワフルだった。その日はみんなで



とよはしアートフェスティバル2020『大道芸 in とよはし』撮影：伊藤華織

5月4日[火・祝]10:30~17:30

5月5日[水・祝]10:30~17:00

会場=PLAT主ホールほか

とよはしアートフェスティバル2021

『大道芸 in とよはし』

ゴールデンウィークは豊橋に大道芸がやってくる。

5月4日[火・祝]10:30~17:30

5月5日[水・祝]10:30~17:00

※各芸人の出演時間、参加方法は劇場HP・チラシをご確認ください。

会場=PLAT主ホールほか

とよはしアートフェスティバル2021

『大道芸 in とよはし』

ゴールデンウィークは豊橋に
大道芸がやってくる。

5月3日[月・祝]17:00開演

竹内直 Old & New Dream Jazz Orchestra 前夜祭スペシャルライブ

出演=竹内直 Old & New Dream Jazz Orchestra

会場=PLAT主ホール

これからの日本のジャズ界を背負って立つ才能あふれる新進のミュージシャンと、竹内直を筆頭とするベテランミュージシャンによるナインピースJazzオーケストラ。これだけのメンバーが一堂に会すること、それだけで奇跡といえる最高のラインナップ。世代を超えた才能が、本気の音楽、Jazzの真髄をお届けする一夜限りのスペシャルLIVE!!



①加納真実

[マイムコメディ]大ヒットした歌謡曲にのせて、奇妙な青いジャージ姿の女が、ストーカーまがいに追ってくる!?これは芸なのか?いやアート?それとも…。これぞ、冷静と情熱の間の、その隙間。抜け出せない加納ワールドをご堪能あれ!

②ネコ☆ソギ

[舞踏]今後の舞踏の世界を担う若き才能達がここに集結!異分野の技術・手法を取り入れ、独自のスタイルと世界観で産み出す、まさに彼らならではの舞踏。開け混沌!踊れSOUL!あなたのHEARTをネコ☆ソギます!

③中国雑技芸術団

[中国雑技]バランス・軟体・アクロバット、磨き抜かれた身体が魅せる、壮絶な技の数々。観る者の想像を軽く凌駕する驚きの連続に、息を呑むのも忘れてしまうほど!はたして今年は何んな技が繰り出されるのか?それは見てのお楽しみです!!

④ゼロコ

[パントマイム]息抜き?気分転換?そんな時には、さぁお茶しよう!せわしない日常の中で、ほっと一息リズムを変えて。笑いあり、驚きあり、じんわり、しみじみ、ほのほのしちゃう。ポットの紅茶を飲み終わるまでの魔法の時間!



⑤Kanauknot カナウノット

[アクロバット]日本屈指のマルチサーカスアクター「いはらつとむ」と、元体操競技日本一のアクロバットダンサー「花火」。驚異の身体能力を誇る2人によるドラマチックサーカス!サーカスならではの華やかでダイナミックな技の数々をお届けします!

⑥博雅会 ハクガカイ

[雅楽]笙・箏・鼓など日本古来の伝統楽器を用いて演奏される、世界最古のオーケストラともいわれる雅楽。古く奈良・平安時代から今日に伝わる、歴史的、芸術的にも世界的価値を有する日本の音色をお楽しみください。

⑦アストロノーツ

[スタチュー]えっ!浮いてるの?全身銀色!日本唯一の浮遊型スタチュー!重力を超越し電子機器を駆使した、宇宙飛行士の未来型人間銅像。え、無重力?一瞬、目を疑う驚きの光景!ロケット燃料費を入れると、あなたの前で何かが起こる!?

⑧オジロス

[フラメンコ]激しく情熱的な踊りと、かき鳴らされるギター。人生の喜怒哀楽を物語る情緒的で官能的な旋律!スペイン・アンダルシアにルーツを持つフラメンコ。飛び散る汗と迫力は、強く、激しく、心と魂に響き渡ります!

⑨STILTANGO スティルトタンゴ

[スティルト・タンゴ]優雅に練り歩き、踊りだしたとの場所全てが舞踏会のダンスフロアに移り変わる!男と女。交錯する影と情熱的なステップ!まるで映画のワンシーンのような、息をのむ美しい光景に浸ってください。

⑩チャラン・ポ・ランタン

[唄とアコーディオン]あの大ヒットドラマ「逃げ恥」のOP曲でもお馴染みの姉妹ユニット!バルカン音楽、シャンソンなどをベースに、サーカス風の独特な世界観で、テンション高め!に!哀愁たっぷり!に!として、ちょっとお茶目に!2人にしかできない音楽の力で最高のステージをお届けします!

⑪SUKE3&SYU スケサンアンドシュウ

[コメディ・アクロバット]顔面偏差値、割と高め。脳内偏差値、なんかおバカめ。派手な技から技巧派の技まで、迫力満点のアクロバットを、コメディを交えながら、ユーモラスにお届けします。息のあったコンビネーションは興奮すること間違いなし!!

⑫竹内直&Wagan Brothers

[Jazz&アフリカンパーカッション]SAX奏者竹内直を中心に、Wagan Brothersを加えた、豊橋ではお馴染み超スペシャルユニット!複雑に絡み合うリズム&体の芯に訴えかけてくる強烈なサウンド。これは絶対に聞き逃したら、もったいない!

矢作——今回『東京ゴッドファーザーズ』を上演しようと思った理由をまずお聞かせください。

藤田——新国立劇場の芸術監督の小川絵梨子さんから「2021年に新国立劇場小劇場で上演する作品と一緒につくっていきませんか」というお話をいただき、新作で、2021年の東京を舞台にした演出、挑戦に溢れた野心作を上演したいという思いが合致したのが、この作品です。

矢作——アニメーション映画の『東京ゴッドファーザーズ』を舞台化しようと思った意図はどのようなものでしたか。

藤田——僕は、今敏監督の世界観、映画のテーマ、メッセージに強く惹かれ続けてきました。監督が2003年の映画公開時に「多層的で多面的な価値観を持つ悲劇であり喜劇です」とお書きになっているように、この作品にはジャンルやメディアを問わない現代性や豊かさがある。作品の持つテーマが、舞台化の可能性を与えてくれるのではないかと考えました。

矢作——1年おくれの東京オリンピック開催目前の上演ですが、それによって捉え方や意識は変わりましたか。

藤田——はい。オリンピックがなかった2020年、そしてコロナ禍、僕も多くの公演が休止や延期、再開を繰り返した演劇の状況を経験しました。今の東京を舞台にした作品は世の中の状況やそれによって変わった価値観を作品に反映し、僕自身、演劇を通してどのように社会と向き合っていきたいのかが問われるのではないかと思っています。

矢作——ストーリーや演出については、どのようにお考えですか。

藤田——この作品に登場する3人のホームレス、元ドラッグクイーンの花ナ、借金を背負った自称元競輪選

PLATでしかできない演出をする。藤田俊太郎

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT芸術文化プロデューサー

演出



藤田俊太郎[ふじた・しゅんたろう]／1980年生まれ、秋田県出身。東京藝術大学美術学部先端芸術表現科在学中の2004年、ニナガワ・スタジオに入る。2005年から2015年まで蛭川幸雄作品に演出助手として関わった。近作に『ピーターパン』『LOVE LETTERS』など。2015年『The Beautiful Game』で第22回読売演劇大賞優秀演出家賞・杉村春子賞、2016年『ジャージー・ボーイズ』で第24回読売演劇大賞優秀演出家賞・最優秀作品賞、『ジャージー・ボーイズ』『手紙2017』で第42回菊田一夫演劇賞、2020年『天保十二年のシェイクスピア』『NINE』『VIOLET』で第28回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第42回松尾芸能賞優秀賞を受賞。

手のギン、そして家出少女のミュキは、世界中のどこにいてもおかしくないという普遍性とテーマを背負っています。この3人が捨て子の親を探すという設定が、それぞれが自分探しをするというストーリーになる。この作品を演劇化するにあたっては、この3人を取り囲む8人全員にもギリシア悲劇のコロスのような人生があるという演出を設えました。あるときは集団でホームレスになり、あるときはそれぞれの役を演じ分け、総勢11人の主人公たちが役を通してどう生きるかを、この作品の演出の主眼に置いています。

矢作——テクニカルな演出はどのようにお考えですか？

藤田——まずは、作品全体を、台詞劇として捉えています。今監督は、アニメーションが本来持っているデフォルメとリアルの間を行き来する手法を駆使しながら、この作品で「アニメーションの回復」をしたとおっしゃっていました。そこで、今監督の作品の精神を受け継いで、演劇にしかできないアプローチで「回復」の物語を紡いでいこうと思いました。今監督の作品の多面的な要素の中には、力強い言葉がある。言葉と向き合い、カンパニーメンバーと対話を重ね、2021年の演劇でしか体験できない新しい価値観を、お客様に渡していく。原作の「台詞」「物語」に力があるから出来ることではないか、台詞を通した演劇に新たな力を宿すことができると思っています。

コロナ禍の影響を受け、僕も作品を映像配信したり、さまざまな価値観での創作に挑戦しましたが、この『東京ゴッドファーザーズ』は、2021年にお客様が劇場で体験することに大きな喜びを見出すことができるのではないかと感じています。

矢作——東京での上演と、その他の豊橋、兵庫、高崎

で上演することはどのようにお考えですか。

藤田——まず物理的に劇場が変わると舞台機構や、上演の条件は変わってきます。僕は穂の国とよはし芸術劇場で何度か演出助手で作品に関わせていただき、客席の傾斜も含めて見やすく、お客さまと一体化できる劇場だなと思っていました。公共劇場で作品にバリエーションがあり、自主企画でつくられた作品も発信している。この劇場で自分の演出作品を上演することができたら、とても幸せだなと。今回念願叶って、とてもうれしく思っています。東京を舞台にした作品ですが、作品の精神、普遍的なメッセージをそれぞれの劇場でしかできないアプローチでお客様に届けたいというのが僕の基本的な考えです。

矢作——PLATができたことで色々な作品が上演でき、演劇を観たいという人が豊橋にこれだけいるんだなということを実感しています。

藤田——お客さまを公共劇場が育てていったのだと思います。駅から近いし、雨に当たらずに劇場に行ける。劇場と周りの環境が、地続きになっている。演劇は非日常の空間ですが、それが突然やってくるわけではなく、日常の地続きの中で非日常があるというのは大事なことです。

この作品は、日常の中に当たり前にある悲劇や喜劇をホームレスの目線を通して描いています。『東京ゴッドファーザーズ』は登場人物たちがこの街のどこかに存在するんじゃないかと想起できる作品です。豊橋のお客さまと一緒に完成させる作品でありたいと思っています。ぜひ皆さんお楽しみください。

矢作——期待と共に、受け入れ環境を整えて万全な体制でお迎えできるようにしたいと思います。ありがとうございます。

6月4日[金]19:00 開演

6月5日[土]・6日[日]13:00 開演

原作＝今敏

上演台本＝土屋理敬

演出＝藤田俊太郎

出演＝松岡昌宏、マキタスポーツ、夏子、

春海四方、大石継太、新川将人、池田有希子、

杉村誠子、周本絵梨香、阿岐之将一、玲央バルトナー

会場＝PLAT主ホール

『東京ゴッドファーザーズ』

クリスマスの夜に起こる奇跡。誰もが幸せになれる物語。

の演出は、体中に刻み込まれているというか、自分のDNA、血になっているような気はします。シェイクスピアだけは、本当にライフワークなので死ぬまで続けたいなと思っています。体の続く限りというところがありますけどね。僕は出口さんと蛭川さんにシェイクスピアを教わったので、小さい声でボソボソと、年寄りでもやれるようなシェイクスピアというのはちょっと思い浮かばないです。ある程度、エネルギーと声量と肉体を駆使してやらないとおもしろくないって思っているんで、俳優としてどこまでやれるかなと。演出家だったら、もうちょっと先までやれるのかなという気がして、なんとも言えないですね。だから、この前の『スルース〜探偵〜』は、やってみて、なんてすごい芝居なんだとびっくりしたのよ。結局、芝居は本がいいと演出はいらんんだという気になってきて。なんとなく整えればいいだけの話であって。だからいい本には巡り会いたいですね。でもそう考えると、シェイクスピアというのは、いい本なのかと思うわけね。シェイクスピアって完成されているのだから。いつもこんな大変な思いをさせてくれるのは、なんでなのという思いが逆に強くなってきて。でも、シェイクスピアのおもしろさというのは、いろいろこつちが想像できるというか、1000人いれば1000通りのシェイクスピアができあがりする。完成された作品ではどうはいかない。多分正解が1通りなのよね。その、汲めども汲めども汲みつけづらいシェイクスピアの作品の魅力に、僕は憑りつかれているんだなという気はします。

中島—— 舞台の話は尽きないですね。短い時間の中で人間の歴史をシェイクスピアはうまく描いているなと思います。6月に無事に4公演実施できることを楽しみにしております。

ね、ヘレンは。次々に事件を巻き起こして、控えめに見えて大胆な欲しいものを諦めない女性。今回はシリーズ最終作とあって豪華な俳優陣ですが、演出の構想とキャスティング、どちらが先だったんでしょうか。

吉田—— キャスティングが先ですね。

中島—— パローレス役を横田栄司さんが、パートラムを藤原竜也さんが演じますが、吉田さんは何を演じるのですか。

吉田—— 私はフランス王をやりませう。演出もやらなきやいけないので、あんまりたくさん出る役は大変だし、年齢的にもフランス王かなと。パローレスがおもしろいから本当はやりたいのですが、演出と一緒にやるのはやはり大変です。

中島—— 鋼太郎さんのパローレス、観たかったですね。それにしても登場人物は、みんな一癖も二癖もあるような人ばかりですね。

吉田—— 腹に一物ある人ばかりっていう。

中島—— それぞれの役が色んな事情を抱えていて、だからなかなか、終わりとうで終わらない。これでひとまず「終わりよければすべてよし」ということにしないと…となんとか幕引きに持っていくような、今日的なテーマを抱えた作品だとも思います。

吉田—— 本当にそうなんですよ。終わらなければ、始められない。

中島—— シェイクスピア作品との巡り合いの中で、演出への大きな力になったことは何でしょう。

吉田—— やっぱ最初に属した劇団がシェイクスピア・シアターで、出口典雄先生にはいっぱい教えてもらいましたね。やっぱ強烈だったんで、その教えは、それから40歳になって出会った蛭川幸雄さんと、このお二方

体の続く限り、

演出・出演

やはりシェイクスピア。吉田鋼太郎

聞き手 中島晴美 穂の国とよはし芸術劇場PLAT シニアプロデューサー

シェイクスピアの芝居はリアリティーが大事というか、割とリアリズムのもとに成り立っている芝居だと思うんだけど、この作品はリアリティーと、おとぎ話的なところが混在していて、そういう意味では非常に演出しづらい。ヘレンが王様の病をどうして治せたのか、それからその褒美に「夫選びをさせてやるぞ」と展開していくんだけど、リアリティーがないのね。

中島—— シンデレラのようなヒロインじゃないんですよ



中島—— 吉田鋼太郎さんは、この記念すべき彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾『終わりよければすべてよし』を演出、出演されますが、豊橋に来られるのはオープニング公演『ヘンリー四世』、『海をゆく者』以来9年ぶりですね。この作品でシェイクスピア・シリーズの芸術監督・演出は何本目ですか。

吉田—— 蛭川さんが亡くなってからだから、『アテネのタイモン』、『ヘンリー五世』、『ヘンリー八世』とやって、この前に『ジョン王』をやるはずだったんですけど、コロナで飛びまして。今回で4本目ですね。

中島—— 『終わりよければすべてよし』をシリーズ最後の作品にした理由を、蛭川さんからは伺っていたんですか。

吉田—— おっしゃっていませんでした。あの方は、自分が死ぬなんて思っていなかった気がします。

中島—— シェイクスピア作品の中でも問題作と言われる『終わりよければすべてよし』ですが、シェイクスピアでも数少ない女性が主役の作品ですね。まずは主人公ヘレンについてお聞かせください。

吉田—— シェイクスピアのヒロインの中ではちょっと異色だなっていう気がします。もともとの設定が孤児。『十二夜』のヴァイオラは海に流されて、離れ離れになるという悲しい状態から始まり、『お気に召すまま』のロザリンドも、宮廷から追放された公爵を探しに行く。シェイクスピアのヒロインは、みんなちょっとネガティブな要素を抱えているんだけど、特にこのヘレンは抱えているような気がして。周りは貴族や王様で華々しい世界なのに、なぜかヘレンだけはその立場にいない。それなのに、王様の不治の病を治して王様に気に入られるという、『マイフェアレディ』みたいな出世物語的なところもありますよね。

6月18日[金]18:30開演
6月19日[土]13:00開演／18:30開演
6月20日[日]13:00開演
作=W.シェイクスピア
翻訳=松岡和子
演出=吉田鋼太郎(彩の国シェイクスピア・シリーズ芸術監督)
出演=藤原竜也、石原さとみ、溝端淳平、正名僕蔵、山谷花純、河内大和、宮本裕子、横田栄司、吉田鋼太郎 ほか
会場=PLAT主ホール

彩の国シェイクスピア・シリーズ 第37弾

『終わりよければすべてよし』

シェイクスピア作品に造詣の深い吉田鋼太郎とフィナーレに相応しい藤原竜也、石原さとみら豪華キャストでお贈りします。
“終わりよければすべてよし”と、幕が下りる、その瞬間をお見逃しなく!

吉田鋼太郎[よしだこうたろう] / 1959年1月14日生まれ、東京都出身。数々のドラマ・映画・舞台に出演しており、2013年にTVドラマ「半沢直樹」(TBS系)で主人公の上司役を演じ注目を集め、2014年連続テレビ小説「花子とアン」(NHK)の九州の石炭王・伝助役を演じた。2015年から「刑事7人」(テレビ朝日系)シリーズなどにも出演。2018年「おっさんずラブ」(テレビ朝日系)「今日から俺は!!」(日本テレビ系)、2019年映画「おっさんずラブ LOVE or DEAD」(カウジ ファイナルゲーム)などで活動。2014年、舞台「ヘン

リー四世」の演技で芸術選奨文部科学大臣賞(演劇部門)を受賞。2016年、他界した蛭川の後継ぎ「彩の国シェイクスピア・シリーズ」2代目芸術監督に就任した。現在「桜の塔」(テレビ朝日系)、舞台「終わりよければすべてよし」が控えている。

INTERVIEW:4



身体、音楽、空間、言葉。準備は万端です。岡田利規

作・演出

聞き手 矢作勝義 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 芸術文化プロデューサー

が、大きく変えようとしていることは舞台美術です。配信した『未練の幽霊と怪物』の上演の幽霊では、テーブルの上でパフォーマンスが繰り広げられ、そのテーブルは窓ガラスのすぐそばの室内にある。そのガラス越しに外の世界の歩道、その歩道のさらに脇の車道に人が歩いたり、車が走ったりしている。テーブルの上の物語とまったく関係のない世界がそこにあるのがとても面白かった。劇場は外の世界を遮断した世界の中でひとときを過ごすための場所だから外の世界がないのは当たり前。それは重々承知ですが、同時にあれができないかなという思いを諦めきれず、舞台美術の中山英之さんが困るような相談をしています。

として、あとはディテールですね。オンラインのリハーサルからリアルな場所でのリハーサルし、本番も同じ場所に観客も立ち会ってディテールごとそれを体験できるのは、やはり全然違うはずで、それが楽しみです。

矢作—— オンラインでのコミュニケーションをされて、その可能性と、ここは無理かなと感じられたことはありますか。

岡田—— 初期段階のコンセンサスの共有、例えば一緒にテキストを読むという、ディスカッション寄りの時間はオンラインでできます。ただ、オンライン演劇にすぐ可能性があるとはいっていません。

演劇は敷居が高いと、ネガティブに捉えることは可能だけど、人はその時間を自分のために使っている。観客が何月何日何時の公演を観ると決めると、そのときはそれ以外のことはできない。未来の1週間後のあなたの予定はそれで決まり、他の予定はもうありえない。つまり拘束し、排他的になって、それで開演に間に合うように観客になりに行くという感覚。自ら求めて縛られ、そうやって経験するに値する何かがある。その力がオンラインにはない。遠くに見にいけなとか、何らかの理由で劇場に行けない人はいます。配信で提供されれば、どんな人も見る事ができるというのはわかるのですが…。

矢作—— 『NO THEATER』があり『未練の幽霊と怪物』

矢作—— 去年の『未練の幽霊と怪物 —「挫波」^{サバ}「敦賀」^{もんじゅ}—』から、今回「挫波」^{サバ}「敦賀」^{つるが}に変更になった意図をお伺いできますか。

岡田—— 構想では、「敦賀」と書いて「もんじゅ」と読ませると面白いと思ってテキストを書いたんですが、「もんじゅ」という一施設ではなく、「敦賀」という地域の話としたほうがしっくりくると思いました。

矢作—— 昨年上演できないとなった際には、どんな作業をされていたのですか。

岡田—— まずは延期と考えました。この公演は、出演者の大半が初めてご一緒する方だったので、いつもしている事ですが、僕がどういうコンセプトでパフォーマンスを作っているかを知ってもらおうワークショップをしました。台詞にどういう内面や感情を込めるかではなく、何を想像するかということ。そのテキストを演じたときにどういう想像を持っているか。それを最初ワークショップでやって、そのあと実際のテキストにするというプロセスです。あと、この作品は音楽劇なので、テキストに対して内橋和久さんに曲を作って頂いています。その曲に合わせて俳優も台詞を言ったり動いたりする。想像と音楽のトラックを作る作業。その二つをしました。

矢作—— 昨年6月には『未練の幽霊と怪物』の配信の幽霊としてオンライン配信されましたが、クリエイションの途中経過の発表という事でしょうか。

岡田—— まずなにか形にして発表したいという衝動がありました。そのときはそのことを「態度表明」と呼んでいました。それと、今のうちにクリエイションしておけば、今年のアドバンテージになる。あと、僕が舞台映像作家の山田晋平くんここ数年取り組んでいて、PLATで5月に上演する「映像演劇」という手法が応用できるなと思った。

矢作—— 具体化していくにあたり、映像で見せたものからどうリアルに立ち上げていこうと考えていますか。

岡田—— 普段通りにクリエイションを進めていきます

6月29日[火]19:00開演・30日[水]14:30開演

作・演出＝岡田利規

音楽監督・演奏＝内橋和久

出演＝森山未來、片桐はいり、栗原類、石橋静河、太田信吾／七尾旅人(謡手)

会場＝PLAT主ホール

『未練の幽霊と怪物 —「^{サバ}挫波」「^{つるが}敦賀」—』

能のフォーマットを応用し、ついでに「夢」を幻視する、レクイエムとしての音楽劇。

があつて、その能のスタイルでこの作品を書いたことをどうお考えでしょうか。

岡田—— 能の構造は大変有用であると心の底から思っています。能のテンプレートに流し込むだけなのに、賞も貰って大変ありがたく思っています。ただ、ザハ・ハディドは未だに面白いことになっている。昨年目録ではオリンピックが始まる1カ月くらい前に、冷や水を浴びせたい、のような気持ちでやっていました。例えば森会長の退任に至る経緯を、あれはザハの呪いと思った人がいた。ザハの幽霊はフィクションなのにそう思ってくれるのは面白い。もんじゅは廃炉作業が始まったのは、昔のことではなく今の話だけど、そこには社会システムの機能不全があつて、犠牲になる人や施設があつた、という二つを書きたかつたんです。

能を作るという意図を具体的に言うと、そこに幽霊がいるというフィクションがその観てくれた人の中に宿るからです。例えばその人が千駄ヶ谷に行ったり、敦賀の海岸に行ったりしたら、あ、ここにはザハ・ハディドの幽霊がいると思ってくれるのではないかと。ここには、もんじゅの幽霊がいるのではないかと。そういうフィクションが重要で、そういうことが起こったらいいなと思っています。世阿弥がどのような意図で能の形式を作ったかわかりませんが、シンプルでこねくり回してない。にもかかわらず、本当に素晴らしい構造だと思えます。

矢作—— 最後に、豊橋の方々にもメッセージをお願いします。

岡田—— 僕らはみんな、その場所で行われる演劇の力が奪われたひとときを挟んだから、なおさらそれを感じるようになっていくと思います。それは絶対に味わってもらえます。パフォーマンス、俳優の体の動き、そして音楽ももちろん空間に響くもので、全然意味が違う。まずパフォーマンスとして観たときに、単純に力があるものになるので、ぜひ期待してください。

矢作—— ありがとうございます。楽しみにしています。

岡田利規[おかだ・としき]／1973年横浜生まれ、熊本在住。演劇作家、小説家、チェルフィッシュ主宰。活動は従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。2005年『三月の5日間』で第49回岸田國士戯曲賞を受賞。同年7月『クラー』で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005」次代を担う振付家の発掘」最終選考会に出席。2007年デビュー小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』(新潮社)を発表し、第二回大江健三郎賞受賞。2012年より岸田國士戯曲賞の審査員を務める。2013年初の演劇論集『廻行 変形していくための演劇論』、2014年戯曲集『現在地』(共

に河出書房新社)を刊行。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールのレパートリー作品演出を4シーズンにあたって務め、2020年『The Vacuum Cleaner』がドイツの演劇祭Theatertreffenの“注目すべき10作品”に選出。2018年8月にタイの小説家、ウティット・ヘー・マムーンの原作を舞台化した『ブラータナー: 憑依のポートレート』をバンコク、12月にパリ、2019年6～7月に東京で上演し、2021年2月に第27回読売演劇大賞選考委員特別賞を受賞。2020年戯曲集『未練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』(白水社)を刊行し、2021年1月に第72回読売文学賞 戯曲・シナリオ賞を受賞。



託児サービス対象公演

要予約。生後6ヶ月以上。
お一人様 ¥500。お申込み、お問合せはプラットチケットセンターまで

チケットの購入・お問合せ プラットチケットセンター

- 劇場窓口・電話 0532-39-3090 [休館日を除く 10:00-19:00]
- オンライン <http://toyohashi-at.jp> [24時間受付・要事前登録]

U25・高校生以下割引で案内

- ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。
- 料金=U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半額/高校生以下:1,000円
 - 購入方法=各公演の一般発売初日から取扱い。
 - その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。

新型コロナウイルス感染症予防対策

- チケット販売=感染予防のため発売初日の窓口販売はなし。翌日以降残席がある場合は窓口販売あり。
- ※その他、最新情報は劇場ホームページからご確認ください。

春風亭小朝 独演会



『東京ゴッドファーザーズ』



『未練の幽霊と怪物―「挫波」「敦賀」―』



森山未來

片桐はいり

栗原 類

イクウメ 前回公演『獣の柱』舞台写真(2019年)



立川志の輔独演会



プラット親子わくわくプログラム2021『めにみえない みみにしたい』



写真:細野晋司

4/24 [土] 13:30開演
春風亭小朝 独演会
人気実力ともに当代随一の春風亭小朝師匠。巧みで華のある話芸をたっぷりとお楽しみください。
●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]一般3,800円ほか

好評発売中

5/1 [土] 14:00開演
プラット2021年度プログラム説明会
2021年度、PLATがお贈りする主催・共催プログラムをご紹介します。
●会場=PLATアートスペース●料金=無料(要整理券または劇場ホームページから要申込)
※整理券はプラットチケットセンターにて配布中

5/4 [火・祝] 10:30 ~ 17:30
5/5 [水・祝] 10:30 ~ 17:00
とよはしアートフェスティバル2021
大道芸 in とよはし
ゴールデンウィークは豊橋に大道芸がやってくる!
●会場=PLAT主ホールほか●料金=[全席指定]入場無料(要事前予約制)
【関連事業】
5/3 [月・祝] 17:00開演
竹内直 Old & New Dream Jazz Orchestra
前夜祭スペシャルライブ
●出演=竹内直 Old & New Dream Jazz Orchestra●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]入場無料(要事前予約制)

予約受付中

5/14 [金] - 21 [金] 11:00 ~ 19:00
チェルフィッチュの(映像演劇)
『風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事』
●作・演出=岡田利規●映像=山田晋平●出演=足立智充、椎橋綾那●会場=PLATアートスペース●料金=[前売]一般800円、U25(25歳以下)400円、高校生以下無料
※前売販売期間5月13日(木)まで。当日券あり。
※期間中1日限り有効(日時指定券ではありません)
※開催期間のうち5/17(月)は休館日※最終日のみ17:00まで
【関連事業】
5/14 [金] 19:00 ~ 20:00
岡田利規・山田晋平トーク
●会場=PLAT創造活動室A●料金=入場無料●募集人数=40名(先着順)●申込方法=①プラットチケットセンター電話窓口(0532-39-3090)②劇場ホームページの専用申込フォームより申込。4月17日(土)10:00より申込受付開始。

好評発売中

6/4 [金] 19:00開演
6/5 [土] 13:00開演
6/6 [日] 13:00開演
『東京ゴッドファーザーズ』
2003年に公開、世界中で愛され続けている今敏監督の長編アニメーション映画の傑作が演劇作品になります。近年目覚ましい活躍を見せている新鋭演出家・藤田俊太郎が演出を務めます。
●一般発売=4月24日(土)●原作=今敏●上演台本=土屋理敬●演出=藤田俊太郎●出演=松岡昌宏、マキスポーツ、夏子、春海四方、大石継太、新川将人、池田有希子、杉村誠子、周本絵梨香、阿岐之将一、玲央バルトナー●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席7,500円、A席6,000円ほか
※発売初日はお一人様1申込につき1公演2枚までの枚数制限あり。
※6月6日(日)視覚障がい者のための舞台説明会あり(要事前予約)。
【特別協賛: サラグループ】

6月5日のみ

6/18 [金] 18:30開演
6/19 [土] 13:00開演 / 18:30開演
6/20 [日] 13:00開演
彩の国シェイクスピア・シリーズ第37弾
『終わりよければすべてよし』
彩の国シェイクスピア・シリーズ、ついに完結! 23年の時を駆け抜け、走破する瞬間をお見逃しなく!
●作=W.シェイクスピア●翻訳=松岡和子●演出=吉田鋼太郎●出演=藤原竜也、石原さとみ、吉田鋼太郎ほか●会場=PLAT主ホール
※前売予定枚数終了。今後の販売については5月中旬以降にお問合せください。

予約枚数終了

6月19日 13:00のみ

6/29 [火] 19:00開演
6/30 [水] 14:30開演
『未練の幽霊と怪物―「挫波」「敦賀」―』
第72回読売文学賞(戯曲・シナリオ賞)受賞作品。国際的に活躍するチェルフィッチュの主宰であり劇作家・演出家の岡田利規が能のフォーマットを応用し、ついでに「夢」を幻視する、レイクイムとしての音楽劇。2020年度にコロナ禍によりやむなく中止となった公演の上演です。
●会員先行=5月8日(土)●一般発売=5月15日(土)●作・演出=岡田利規●音楽監督=内橋和久●演奏=内橋和久、筒井響子、吉本裕美子●出演=森山未來、片桐はいり、栗原類、石橋静河、太田信吾/七尾旅人(謔手)●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席6,000円、A席3,500円、イクウメ『外の道』S席セット券 10,000円ほか
※発売初日はお一人様1申込につき1公演4枚までの枚数制限あり。

6月30日のみ



チェルフィッチュの(映像演劇)
『風景、世界、アクシデント、すべてこの部屋の外側の出来事』

7/3 [土] 13:00開演
イクウメ『外の道』
紀伊國屋演劇賞受賞など、現代日本演劇を牽引する劇作家・演出家の前川知大が主宰・作・演出を務める、劇団イクウメ。超常的な世界観で、日常生活の裏側にある世界から人間の心理を描いていきます。2020年度にコロナ禍によりやむなく中止となった公演の上演です。
●会員先行=5月8日(土)●一般発売=5月15日(土)●作・演出=前川知大●出演=浜田信也、安井順平、盛隆二、森下 創、大窪人衛/池谷のぶえ、薬丸 翔、豊田エリー、清水 緑●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]S席6,000円、A席3,500円、『未練の幽霊と怪物』S席セット券 10,000円ほか

6月5日のみ

7/8 [木] 18:30開演
立川志の輔独演会
古典、新作問わず落語に新しい息吹を吹き込む、大人気の立川志の輔による独演会です。
●会員先行=5月15日(土)●一般発売=5月29日(土)●出演=立川志の輔●会場=PLAT主ホール●料金=[全席指定]一般4,200円ほか
※発売初日はお一人様1申込につき2枚までの枚数制限あり。

7/24 [土] 14:00開演
犬塚沙希 ピアノ・リサイタル『共鳴するところ』
ショパンを軸として、四人の作曲家作品を集めたプログラム。前半はソロを、後半はプラットワンコインコンサートにも登場した Trio Katzeのメンバーと共演します。
●出演=犬塚沙希[ピアノ]●ゲスト=中村真帆[ヴァイオリン]、関根のぞみ[チェロ]●曲目=ショパン:バラード 第4番 作品52へ短調、ラヴェル:ラ・ヴァルス ほか●料金=[全席自由・整理番号付き]一般2,000円ほか

好評発売中

8/28 [土] 11:30開演 / 15:00開演
8/29 [日] 11:30開演
プラット親子わくわくプログラム2021
『めにみえない みみにしたい』
マームとジブシー主宰の藤田貴大が初めて取り組んだ、子どもから大人まで一緒に楽しめる演劇作品。大きな布を森に見立てたり、しりとりなどのゲーム要素やしゃぼん玉などを使った視覚効果など、多様な手法で子どもたちの演劇への興味を高めながら、少女の成長や自立、戦争なども描きます。めにみえない生き物を探しに一緒に出掛けましょう!
●会員先行=6月12日(土)●一般発売=6月26日(土)●作・演出=藤田貴大●音楽=原田郁子●衣装=suzuki takayuki●出演=伊野香織、川崎ゆり子、成田亜佑美、長谷川洋子●会場=PLATアートスペース●料金=[全席自由・整理番号付き]大人3,500円、U25 1,700円、こども(高校生以下)500円

8月28日 11:30のみ

ワークショップ・レクチャー
高校生と創る演劇 出演者・スタッフ募集
公募による高校生出演者とスタッフが、劇場やプロのスタッフとともに上演する演劇の第8弾。今年は脚本に松原俊太郎、演出に舞台芸術カンパニーのスペースノットブランクを迎え、新作戯曲を上演します。
●対象=2003年4月2日~2006年4月1日生まれで、稽古、公演日11月6日(土)、11月7日(日)に参加できる方●定員=出演者:12名程度、スタッフ:若干名●審査=[1次]5月22日(土)、5月23日(日)のどちらか1日[2次]5月30日(日)●申込方法=4月23日(金)17:00までに参加申込書に必要事項を記入の上、窓口持参か郵送

市民と創造する演劇
『新作公演~映像演劇の手法による~』
出演者募集
公募による出演者が、劇場やプロのスタッフとともに上演する演劇の第8弾。チェルフィッチュの岡田利規と映像作家の山田晋平による、新しい演劇の形である「映像演劇」の手法を活用したパフォーマンス演劇作品を市民と共に創り上げます。
●対象=高校生以上で、ワークショップ、稽古、公演日(3月上旬)に参加できる方●日程=7月17日(土)、7月18日(日)のどちらか1日●申込方法=7月2日(金)17:00までにオンライン申込み、又は参加申込書に必要事項を記入の上、窓口持参か郵送。

樋口ミュ 戯曲創作講座2021
初心者でも経験者でも、短篇の戯曲を書き上げることを目標とする講座です。
6月26日[土]-7月31日[土]【全6回】
●講師=樋口ミュ●会場=PLAT創造活動室Dほか●参加費=一般5,000円、U25 2,500円、高校生1,000円●対象=高校生以上で文章執筆経験がある方。戯曲執筆の経験は問いません。●募集人数=10名(課題文章の提出および書類選考あり)●申込方法=①参加申込書を窓口、FAXにて提出②劇場ホームページの専用申込フォームより

若手音楽家育成事業
プラットワンコインコンサート2021 出演者募集
音楽鑑賞の普及と同時に、豊橋および三河地域にゆかりのある若手音楽家に演奏の機会を提供し、地域の若手音楽家らの支援・育成を目的としたプラットワンコインコンサート。劇場と共にコンサートをつくり、出演する若手音楽家を募集します。
※応募条件・詳細は劇場ホームページをご確認ください。
●審査=[1次]書類[2次]実技6月7日(月)~9日(水)のいずれか17:00以降●申込方法=5月10日(月)までに必要書類を窓口提出か郵送(当日消印有効)



『適応力と、抗うちから』
芸術文化アドバイザー
桑原裕子

着替え。洗面用具。化粧品。ノートパソコン。台本。スマホと充電器。

以上が絶対に必要なモノ。

電気毛布、空気清浄機、毛布、クロームキャスト、ニンテンドーSwitch、延長コード、セラミックファンヒーター、本数冊、マッサージ器具、ラグ、ストレッチマット、ヨガマット。

以上が余分なアイテム。

この、なくても生活はできるけれど、あれば格段に暮らしがよくなる余分なアイテムを車に入りきらないほどどっさり積んで2月、私は豊橋に向かいました。

以前も別の地方で滞在したことがあるのでその辺はよく学習しています。寒い時期の滞在に暖房器具は必須。エアコンつきの部屋でもなめてはいけません。娯楽器具がやたらと多いことにお気づきでしょうが、なんとって緊急事態宣言中。気晴らしの外食さえも自粛せざるを得ない今、せめてウィークリーマンションの自室を快適に整備するくらいはしておかねばなりません。

そんなわけで私はこの冬、市民と創造する演劇シリーズ『甘い丘』という舞台を製作するために一ヶ月強の間、豊橋に滞在していました。

キャストはオーディションで選ばれた市民と、東京から、私の所属する劇団KAKUTAからも数名。このお仕事が決まったときはまだコロナといえば美味しいビール、という良き時代だったので、私は稽古が始まったらキャストやスタッフと連日街へと繰り出し豊

橋中のグルメを堪能する気満々でした。今こう書いてるだけで不謹慎とってしまうほどに、あるいは胸が懐かしさでギョッと痛むほどに、そんなことが遠くなった今なのですね。

結局今回は、ひたすら稽古場と仮住まいを往復するだけの日々でした。しかしそれは良い。演劇をやるだけで幸せってもの。いやほんとに！

しかし感染・除菌対策でただでさえ制約の多いなか、緊急事態宣言によって稽古が20時まで出来ないという状況、これが辛かった。だってキャストの多くは平日しっかり働いている社会人。仕事を終えて18時過ぎ、やっと稽古場に来て19時半には稽古を切り上げなくてははいけません。さらにさらに、開幕直前の劇場入りまで稽古は全員マスク着用必須。そんなの当たり前じゃないかと思われるかも知れませんが、演劇に於いて、しかも会話劇でマスクというのは、相手の表情が見えないからものすごく大変です。

長々説明しましたが「大変だった」話を書き連ねたいわけではありません。そんな過酷な日々を経たキャストたちがどうなったか、それをお知らせしたかったのです。

結果……全員、超絶に逞しくなっていました!!

短時間の稽古でも創作を前進させる集中力と吸収力!マスクで口を塞がれても息切れせぬ強靱な肉体!不織布に負けないクリアな発声!目だけで相手に想いを伝える表現力!「ドラゴンボール」で孫悟空が亀の甲羅を背

負わされて修行するエピソードをご存じですか。あるいは「巨人の星」で星飛馬が訓練の際に身につけていた強制ギブス(さすがに古いですか…?)。まさしくあれです。数々の制約が彼らを強く逞しい俳優へと鍛え上げたのです。これぞ逆境をモノにする力!!

コロナ禍でむりやり良かった点を挙げようというわけじゃないんです。ただ、開催すら危ぶまれるなか無事にやり終えただけでなく、人間の適応力と現状に抗う底力を目の当たりにし、素晴らしい舞台を作り上げたみんなを心から誇らしく思いました。

先述のとおり数々の娯楽グッズを持ち込んでいた私もいつの間にかゲームもマッサージも要らなくなり、この作品を書いた30歳の精神と肉体を取り戻したかのように熱い演劇の湯にどっぷり浸かっておりました。肉体は嘘ですね。今も疲れがとれない……マッサージしとけば良かった。

だけど熱い想いは本当です。その証拠に、打ち上げや懇親会はもとより休憩中の雑談さえほとんどできていないのに、17名のキャストと市民スタッフ、PLATの人たちが今もとても愛おしいのです。もしかすると純粋に演劇だけで結びつくという座組は人生初めてのこともかもしれません。そして二度とこんな体験はないかも知れません。コロナ時世を思えばそんな状況は二度とない方が良く、早く元の生活に戻りたい。でも、人は強くあれるということを教わった『甘い丘』の日々でした。

SUPPORT

知識製造業
三遠機材株式会社
http://www.san-en.co.jp

Gallery 48
呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊
電話 52-5256

株式会社 竹尾建築設計事務所
代表取締役 竹尾 誠
豊橋事務所/豊橋市平川南町91-2 〒440-0035 Tel.0532-62-1331(代) Fax.0532-62-1332
浜松事務所/浜松市東区流通元町13 〒435-0007 Tel.053-422-3628(代)

グロリアンピアノ地域特約店
白羽楽器 株式会社
電話 053-464-3015

竹内産婦人科
産婦人科 婦人科(不妊治療)
豊橋市新本町23 (豊橋市西産婦人科) 産科Q

ケンチク 701
KURONO ARCHITECT STUDIO
y.qlo170@gmail.com

うつ、統合失調症、精神遅滞、発達障害、脳梗塞、人工透析、人工関節など
豊橋・豊川障害年金相談センター
初回相談無料 ☎0120-891-498
豊橋市花中町 160-9 障害年金専門社会保険労務士 竹下英司

看板広告 アラキスタジオ
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら
精文館書店
TEL.54-2345

ONOCOM なければつくる
株式会社オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
医療法人栄真会 伊藤医院
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間 数きく宗
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
豊橋調理製菓専門学校
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL.53-2809

豊橋銀行協会 (順不同)
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 第三銀行
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶屋菓子専門店
若松園
御菓子司

西村能舞台
豊橋市上伝馬町
代表=西村能二
Mail=nnbutai@gmail.com

気まぐれコンサート
事務局/0532-62-9259(小川小恵)

安心・安全な地下駐車場
パ・ウ500
ソウの親子の
看板が目印
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科
医療法人 塩之谷整形外科
理事長 塩之谷 昌 院長 塩之谷 香 副院長 市川義明
豊橋市植田町閑取54 電話 0532-25-2115(代)

豊橋名産 傘あくわ

井上皮フ科クリニック
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝
電話 0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
高誠堂
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
株式会社 三光製作所
三光精密工業株式会社
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala
サーラグループ

TICKET CENTER

チケットの購入・お問合せ
プラットチケットセンター

電話・窓口
0532-39-3090 [休館日を除く 10:00-19:00]
オンライン
http://toyohashi-at.jp [24時間受付・要事前登録]

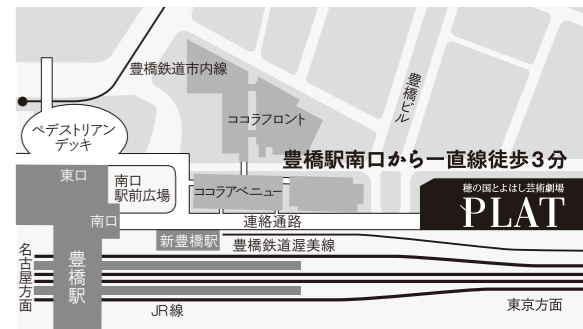


プラットフレンズ募集
入会金・年会費無料

特典
1 公演情報をメールでご案内します。
2 インターネットでチケット予約ができます。
3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。
※劇場窓口またはホームページからご登録いただけます。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設定しています。
●料金
U25[25歳以下]:公演ごとに指定する座席の半額
高校生以下:1,000円
●購入方法
各公演の一般発売日から取扱い。
●その他
本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。
一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
電話=0532-39-8810[代表]
開館=9:00-22:00 休館日=第三月曜・年末・年始。
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、
お近くの公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT